

第399号  
平成25年  
9月号

# 院内だより

財団法人 金森和心会

発行所  
郡山市大槻町天正坦11  
編集委員会

## ● 金森和心会創立80周年記念講演会 ●

昭和大学医学部精神医学講座 岩波 明 主任教授 講演

# 「現代社会と心の病」を拝聴して

針生ヶ丘病院 保健福祉部 (心理専門員) 大森 洋亮

創立80周年記念、誠にありがとうございます。昭和8年に福島県で初の精神科病院として開設されて、80年という長き年月の足跡に歴史と伝統の重みをひしひしと実感しております。

今回、80周年を記念して、昭和大学医学部精神医学教室の岩波明主任教授を講師に招いて、「現代社会と心の病」をテーマとした講演会が開催されました。岩波明先生は、東京大学医学部を卒業後、都立松沢病院などで臨床経験を積まれ、その臨床経験をベースに「うつ病—まだ語られていない真実」「精神科医が読み解く名作の中の病」など数多くの著書を執筆されています。当法人理事長が都立松沢病院在職中に岩波先生からご指導を受けたとの経緯があり、また東京大学、昭和大学の非常勤の先生方が当院に勤務されており、当院と岩波先生との間には昔から縁深いつながりがあると

のことでした。

岩波先生は、「現代社会と心の病」とのテーマで、①精神疾患の社会的コスト、②精神疾患の「流行」、③職場の問題と精神疾患、④日本社会と自殺、⑤発達障害をどう扱うか、⑥アノミー化と精神医学の6つの観点からお話し下さいました。中でも、現代的な精神科の病として注目されている「うつ病と発達障害」の問題を中心にお話しされていましたが、そのお話しは国際的な広い視野に立脚し、また数々のデータで根拠を示し、さらには具体的事例を通しての説明に多くのことを学ぶ機会となりました。岩波先生の講演を拝聴して、印象に残ったことや私なりに考えたことをご報告したいと思います。

現代は「うつ病100万人の時代」と言われていますが、WHOにより2020年にはうつ病が「健康な生活を障害する疾患」の第2位になると予測されており、うつ病及び自殺による社会的損失が甚大なこと、そして今後は認知症の比率も高くなることから精神科医療の社会的重要性がさらに大きくなることを指摘されていました。まさに平成23年7月に精神疾患が「がん、脳卒中、心臓病、糖尿病」と並ぶ5疾病に位置付けられたのも、現代社会において心の病の問題を避けて通ることがもはや出来なくなっ



たと言えますし、今後は精神科医療において質の高さと共にエビデンスが問われてくるだけに、私たち精神科医療従事者にとって、「5 疾病」に位置付けられたのは革命的出来事と言っても過言ではないと考えさせられました。

日本の精神科医療を振り返れば、座敷牢に始まり、鍵と鉄格子の閉鎖的環境、薬づけや作業づけ、宇都宮病院事件を始めとした精神科病院の度重なる不祥事というように、常に抑圧・迫害され、誤解と偏見にまみれた歴史的事実がありました。そのような時代的背景の中にありながらも、初代の金森五郎理事長は平素から口癖のように「和の心」を唱え、2代目の金森健理事長は「明るく 優しく 温かく」を基本姿勢として示されました。これらは、当財団の基本理念となっていますが、この基本理念があったからこそ、抑圧や迫害に屈することなく、当法人の歴史と伝統が積み重ねられてきたといえますし、今後も末永く受け継がれていくものと改めて確信いたしました。

発達障害に関しては、昭和大学附属烏山病院で発達障害外来・ADHD 外来を開設されており、アスペルガー症候群・広汎性発達障害（自閉症スペクトラム）・注意欠陥多動性障害（ADHD）を中心とした外来診療、それと併せてデイケアも開設し、対人関係のスキル獲得と就労援助のプログラムを行っているとのことでした。大学の附属病院で発達障害に関してデイケアまで行うほどインテンシブに取り組んでいるところは、国内の大学病院では極めて少ないのが現状かと思えます。

発達障害に関しては、歴史的に見て、教育・福祉・医療のいずれにおいても取り残された状態が続いてきました。原因が不明

なだけに、その治療法も百花繚乱を呈し、発達障害児（者）を抱える家族とすれば、何を信じてどうすべきかがわからず、羅針盤のない船で彷徨い続けた家族が決して少なくともありませんでした。実際、発達障害に関する法律「発達障害者支援法」が施行されたのは、今からわずか8年前の平成17年です。ですから、中には発達障害であることが見過ごされたまま、成人となった段階で不適応やコミュニケーション障害で悩み、ひきこもりやうつ、不安障害などの二次障害を抱えて受診した際に、初めて発達障害であることが判明する、いわば「大人の発達障害」に社会的な関心が高まっています。当院でも、発達障害に関して、昭和56年から取り組んでいますので、医療機関としてはかなり先駆的と言えます。最近の活動の一端は、郡山精神医療の第25号から最新号の27号まで「自閉症療育講座」として掲載されていますので、ご高覧をいただければと思います。今回を機会に、当院の成育支援室が烏山病院の発達障害外来・ADHD 外来と何らかの形で連携していけることを心より願っております。

岩波明先生と当院の間の縁深いつながりを実感することのできる講演会でしたが、今後も引き続きご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

